

日本海ガス株式会社

2026年5月28日

## 原料費調整（スライド）制度に基づく 2026年7月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

■「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2026年7月検針分に適用される従量料金単価を、2026年6月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり+0円53銭（税込）調整させていただきます。

■標準家庭（1か月のご使用量が20 m<sup>3</sup>）の場合、ガス料金は月額6,527円（税込）となり、11円（0.17%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m<sup>3</sup>あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2026年2月～2026年4月のLNG、プロパンの平均原料価格を2026年2～3月の貿易統計確報値および2026年4月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は87,860円/t となります。2026年6月検針分のガス料金調整額を算定した2026年1月～2026年3月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2026年2月～2026年4月の実績平均原料価格は、トンあたり660円上昇することになりますので、料金調整は上記のとおりとなります。

●2026年7月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2026年6月検針分の従量料金単価に対して、+0.53円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価（1m <sup>3</sup> あたり）	
			2026年7月	2026年6月
A	0 m <sup>3</sup> から 10 m <sup>3</sup> まで	1,215.61 円	289.51 円	288.98 円
B	10 m <sup>3</sup> を超え 170 m <sup>3</sup> まで	1,694.11 円	241.66 円	241.13 円
C	170 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで	10,576.83 円	189.41 円	188.88 円
D	500 m <sup>3</sup> を超える	12,721.83 円	185.12 円	184.59 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2026年7月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が20m<sup>3</sup>）の場合

2026年7月適用料金 (a)	2026年6月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,527 円	6,516 円	+11 円	+0.17 %

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2021年～2025年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m<sup>3</sup>）

	2026.2～2026.4	2026.1～2026.3	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	87,440	87,000	97,030
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	98,230	88,310	95,050
平均原料価格(LNG換算)	87,860	87,200	97,170

■2026年2月～2026年4月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\ &= 87,440 \text{ 円/t} \times 0.9788 + 98,230 \text{ 円/t} \times 0.0231 \\ &= 87,855.385 \text{ 円/t (10円未満四捨五入)} \\ &= \underline{87,860 \text{ 円/t}} \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 87,860 \text{ 円/t} - 97,170 \text{ 円/t} \\ &= -9,310 \text{ 円/t (100円未満切捨て)} \\ &= \underline{-9,300 \text{ 円/t}} \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned} \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率}) \} \\ &= \{ -9,300 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.080 \times 1.1 \} \\ &= -8.184 \\ &= \underline{-8.19 \text{ 円/m}^3} \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

	2026年7月	2026年6月	増減
調整額(円/m <sup>3</sup> ・税込)	-8.19	-8.72	+0.53

以上

本件に関するお問い合わせ

日本海ガス株式会社

管理部料金センター 長谷川

TEL : 076-442-5020